

龍谷大学 犯罪学研究センター (CrimRC)



公開研究会・シリーズ「戦争と犯罪」

第2回研究会

ウクライナの現状について ジャーナリストが語る

犯罪学の観点からも、戦争という人類最大の「犯罪」とそれに関連する被害者の問題は、見過ごすことのできない大きな問題です。第2回研究会では、ジャーナリスト3名による鼎談を実施します。

2022年2月、ロシアがウクライナに侵攻し、空爆と戦闘は予想以上の激しさで広がりました。ジャーナリストで映画監督の綿井健陽氏は独自の視点と丹念な取材で、戦時下のウクライナのさまざまな側面をレポートしました。ウクライナでは一体、何が起きていたのか。綿井氏が目撃した戦争の姿を、大手メディアでは伝えなかった部分を含めて、映像と写真を使い語ってもらいます。

また、ロシアとウクライナを取り巻く国際環境の歴史と現況を、ロシアや北大西洋条約機構（NATO）、欧州連合（EU）、2014年のロシアによるクリミア併合も取材した共同通信社 外信部編集委員の小熊宏尚氏が解説します。ナビゲーターは、国家の犯罪などを取材してきたジャーナリストの舟越美夏氏が担当します。

第2回公開研究会 実施概要

- 日時：2022年 **5月29日**（日）
14:00-16:00
- 会場：オンライン（Zoom）
- 参加費：無料 ※事前登録制
- 講師：綿井 健陽氏（ジャーナリスト）
- コメンテーター：小熊 宏尚氏（共同通信社 外信部編集委員）
- ナビゲーター：舟越 美夏氏（ジャーナリスト・犯罪学研究センター嘱託研究員）

主催：一般社団法人刑事司法未来
共催：龍谷大学 犯罪学研究センター

[詳細・申込ページ→](#)

